

月の読み方の由来

- 衣更着、まだまだ寒いので衣を更に着る。
- 「神の月」。全国の神様が出雲大社に集まる。
- 霜が降り始める月。
- 草木が弥（ますます）生い茂る。
- 木の葉が落ちはじめる月。
- 親戚が集まって睦み合う。
- 秋の夜長の月。
- 師（お坊さん）が走り回る月。
- 卯の花が咲く月。
- 早苗を植える月。
- 田に水を入れる月。「みなづき」は「水の月」という意味。
- 短冊にお願いを書く月。昔は七夕に書道の上達を祈っていた。

まとめ 暗誦